

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を全員が理解していない。	身体拘束を行う事が無いように全員が理解する。	職員全員が覚え、理解できるよう休憩室に掲示する。外部の研修にも積極的に参加し、身体拘束を行わない介護を継続する。	6ヶ月
2	35	災害時が夜間帯でも非難や対処ができる方法を見につける、及び備蓄品の見直しを進める。	夜間を想定した訓練、備品の見直しを行う。	急に起こる災害に対応できるように夜間を想定した訓練を取り入れる。夜勤を行う全員が参加し、様々なケースを想定し訓練を行う。また備蓄品の確認、検討を行う。	12ヶ月
3	43	排泄表を記入しているが十分に活用できていない。下剤を使用しなくて行える排便コントロールについて工夫、実践が足りていない。	日頃の排泄パターンを全員が把握する。下剤を使用しない排便コントロール。	排泄のパターンやチェックを必ず行える様に個々の動きを確認、信頼関係を築く。内外部の研修に行き、食事や運動で下剤を使わない排便コントロールに取り組む。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。